

読書会

NHK出版

『白い犬とブランコ 莫言自選短編集』より

「獵銃」

ノーベル文学賞受賞作家

莫言 著

講師：永井 英美 氏

(立命館孔子学院中国語講師)

12/4 (土)

12:30～14:30

立命館孔子学院図書室

参加無料

※感想を話し合いますので、事前に作品を読んでご参加ください。

テキスト・作品

NHK出版『白い犬とブランコ 莫言自選短編集』吉田富夫訳 定価1,870円 (ISBN978-4-14-005436-9) 所収の作品を順に読んでいます。(テキスト購入費は参加者負担となります)

一回参加してからテキストを購入したいというお申し込みも歓迎します。事務局にご相談ください。

お申込み方法

前日までに孔子学院事務局まで、電話・FAXもしくはメールにてご連絡下さい。

立命館孔子学院 (立命館大学 国際平和ミュージアム2階)

〒603-857 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 アカデミア立命21内

TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429

Mail : koza@st.ritsumeikan.ac.jp HP : <http://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/>



本を読むのが好きな方、
現代中国の小説に興味がある方、
一緒に読書会をしませんか。

作品冒頭部分

人差し指を失った右手で銃を右肩から下ろしたとき、金色の陽光が彼を包んだ。太陽は滑らかな曲線を描いて急速に沈んでいき、野面には、不規則な引き潮のような響きと、濃淡取り混ぜた荒涼たる気配が漂っていた。

錢苔がまだらに生えた地面に銃をそっと置く。湿った地面が目に入って、心に抵抗を感じた。銃身が長くて赤銅色の木の銃床をつけた手製の獵銃は、身をくねらせるようにしてびしょぬれの地べたに横たわり、そのかたわらに落ちたコーリヤンの穂に夕日が射している。穂からは、細く柔らかな黄色い芽が群がって生え、その影が黒い銃身と赤銅色の銃床に落ちて、そこは色が変わって見える。――

お申込み・お問合せ先

